

平成22年3月期 第3四半期決算短信

平成22年2月5日

上場取引所 東大

上場会社名 株式会社 ウッドワン

 コード番号 7898 URL <http://www.woodone.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 中本 祐昌

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理部長 (氏名) 今田 裕志

TEL 0829-32-3333

四半期報告書提出予定日 平成22年2月12日

配当支払開始予定日

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第3四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第3四半期	47,896	17.9	1,501	22.2	1,170	244.4	4,909	
21年3月期第3四半期	58,325		1,228		339		11,769	

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第3四半期	105.17	
21年3月期第3四半期	252.05	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第3四半期	105,834	27,226	24.9	563.66
21年3月期	106,971	17,403	16.1	369.37

(参考) 自己資本 22年3月期第3四半期 26,309百万円 21年3月期 17,242百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期		6.00		4.50	10.50
22年3月期		3.75			
22年3月期 (予想)				3.75	7.50

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	63,800	14.6	1,550	18.4	300	27.1	3,900		83.55

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無
新規 社 (社名) 除外 社 (社名)
- (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有
(注) 詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】 4.その他をご覧ください。
- (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)
会計基準等の改正に伴う変更 無
以外の変更 無
- (4) 発行済株式数(普通株式)
- | | | | | |
|--------------------|-------------|-------------|-------------|-------------|
| 期末発行済株式数(自己株式を含む) | 22年3月期第3四半期 | 49,209,846株 | 21年3月期 | 49,209,846株 |
| 期末自己株式数 | 22年3月期第3四半期 | 2,534,059株 | 21年3月期 | 2,528,071株 |
| 期中平均株式数(四半期連結累計期間) | 22年3月期第3四半期 | 46,678,480株 | 21年3月期第3四半期 | 46,694,128株 |

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。なお、上記業績予想に関する事項は、添付資料4ページ【定性的情報・財務諸表等】 3.連結業績予想に関する定性的情報をご覧ください。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、工業生産や輸出が徐々に持ち直すことによって、景気回復の傾向がみえるものの、円高とデフレの進行が企業業績の先行きに不透明感を与え、設備投資は大きく落ち込んだまま、雇用情勢の悪化、消費マインドの後退など企業を取り巻く環境は厳しい状況が続いております。

住宅業界においても、住宅版エコポイント制度創設や住宅購入時の贈与税非課税枠の拡大等、新政府の新政策に期待するものの、新設住宅着工戸数が前年同期を大きく下回り、大幅な落ち込みとなる等の影響から、第3四半期連結会計期間も引き続き厳しい状況で推移しました。

当社グループは、昨年度までの新製品を船に展示して各地をめぐる船上フェアに代えてリニューアルした各ショールームを活用した商談会や図面から立体画像でインテリアの空間を再現できる3Dプランニングソフト「ワンズプランナー」を全ショールームに導入しております。

建材製品として「ジュピーノうづくりシリーズ」の製品の拡大を行い、表面にうづくり加工を施した床暖房用床材や、これらとコーディネートが可能で、同じ表面仕上げとした玄関廻り部材、階段部材についても発売しました。更に、独自の情報一元化システム（ワンズサポートシステム）を地域工務店に展開し、長期優良住宅認定取得のサポートを開始しました。

当第3四半期連結会計期間において、通風により収納内部の空気を循環することで湿度の高まりを抑える「無垢ルーバークローゼット」を発売しました。また、汚れが取れやすく染みにくい耐汚染機能付きに加え、エコロジーな高機能床材として森林管理協議会（FSC）の森林管理認証（FM認証）を取得したニュージープインの合板を使用した基材「エコプラスベース」を採用した「コンビットプロテクトEco+（エコプラス）」を発売しました。

これらの営業施策を行ってまいりましたが、需要の低迷による販売数量の減少や販売競争の激化等から売上業績は厳しいものとなりました。これに対し、更なる業務の効率化、コスト削減、たな卸資産圧縮等の総資産の効率化等により、利益体質への改善に努めて参りました。

その結果、当第3四半期連結累計期間の連結売上高は、47,896百万円（前年同期比17.9%減）、営業利益1,501百万円（前年同期比22.2%増）、経常利益1,170百万円（前年同期は339百万円）、四半期純利益4,909百万円（前年同期は四半期純損失11,769百万円）となりました。なお、特別利益として、主に為替の急激な変動などにより発生した外貨建借入金の為替評価差益3,732百万円や未決済為替予約取引評価差益2,223百万円を計上しました。

また、当第3四半期連結会計期間の連結売上高は、16,271百万円（前年同期比10.4%減）、営業利益1,230百万円（前年同期比14.4%増）、経常利益1,465百万円（前年同期は173百万円）、四半期純利益1,282百万円（前年同期は四半期純損失6,808百万円）となりました。なお、特別利益に為替差益として外貨建借入金の為替評価差益30百万円や未決済為替予約取引評価差益580百万円を計上しました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間における連結財政状態は、前連結会計年度末に比べ、資産が1,137百万円減少し、負債が10,960百万円減少、純資産が9,823百万円増加しました。主な内訳として、資産は、受取手形及び売掛金が1,010百万円減少、たな卸資産が3,601百万円減少、立木は為替換算の影響により3,132百万円増加しました。負債は、支払手形及び買掛金が2,219百万円減少、有利子負債が1,894百万円減少、その他（流動負債）の内、為替予約が6,682百万円減少しました。純資産は、利益剰余金が4,521百万円増加、繰延ヘッジ損益が3,114百万円増加、為替換算調整勘定が1,344百万円増加しました。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

新設住宅着工戸数が、前年同期を大きく下回り、大幅な落ち込みとなる等の影響から、住宅業界は、第4四半期連結会計期間も引き続き厳しい状況が続くものと思われます。当社グループにおきましては、これまでのトータルスタイリングキッチン「スイーजीー」、「コンビットモノ4尺」、「ジュピーノウづくりシリーズ」に加え、第3四半期連結会計期間において発売した「無垢ルーバークローゼット」「コンビットプロテクトEco+（エコプラス）」の拡販を目指します。

更に、地域工務店への「長期優良住宅」の認定取得サポートおよび「長期優良住宅普及促進事業」における補助金を受けるためのサポートを充実させることにより、今後、これらが当社の強みとなる見込みです。

また、平成21年2月にニュージーランドの連結子会社の全森林、全工場で森林管理協議会（FSC）の森林管理認証（FM認証）、加工・流通の管理認証（COC認証）を取得しておりましたが、この度、フィリピン共和国、中華人民共和国、国内の木質建材関連工場にてCOC認証を追加取得し、森林経営から最終製品までの認証製品の出荷体制をグループ内で確立しました。

この結果、当社が使用するニュージーランドからの原材料を使った最終製品は、認証製品として出荷が可能となり、平成22年4月より対象製品を、順次出荷していきます。

今後更に、当社グループが所有する山林資源を有効に活用したこれらの新製品の拡販や更なる業務の効率化、コスト削減、資産の効率化に努めます。

なお、通期の業績予想につきましては、平成21年10月16日に発表しております。通期の業績予想に見直しが必要である場合は、速やかに開示します。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

① 一般債権の貸倒見積高の算定方法

当第3四半期連結会計期間末の貸倒実績率等が前連結会計年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度末の貸倒実績率等を使用して貸倒見積高を算定しています。

② 棚卸資産の算定方法

当第3四半期連結会計期間末の棚卸高の算出に関しては、実地棚卸を省略し、第2四半期連結会計期間末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算定する方法によっています。

③ 法人税等の算定方法

法人税等の納付額の算定に関しては、加味する加算減算項目や税額控除項目を重要なものに限定する方法によっています。

その他影響額の僅少なものにつき一部簡便的な手続きを用いています。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続・表示方法の変更

該当事項はありません。

5. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成21年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,255	4,362
受取手形及び売掛金	9,323	10,334
商品及び製品	5,332	6,555
仕掛品	2,602	2,846
原材料及び貯蔵品	8,287	10,422
その他	2,518	1,252
貸倒引当金	△103	△131
流動資産合計	34,217	35,641
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	11,048	11,002
機械装置及び運搬具（純額）	11,105	10,900
立木（純額）	20,727	17,594
その他（純額）	14,165	13,839
有形固定資産合計	57,046	53,336
無形固定資産	677	555
投資その他の資産	13,894	17,437
固定資産合計	71,617	71,330
資産合計	105,834	106,971
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,491	6,710
短期借入金	21,986	29,404
1年内償還予定の社債	3,000	3,000
未払法人税等	90	122
引当金	34	588
その他	8,447	14,864
流動負債合計	38,050	54,691
固定負債		
社債	9,000	12,000
長期借入金	29,145	20,621
引当金	883	873
その他	1,529	1,382
固定負債合計	40,557	34,877
負債合計	78,608	89,568

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成21年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,324	7,324
資本剰余金	7,816	7,816
利益剰余金	14,153	9,632
自己株式	△2,128	△2,126
株主資本合計	27,166	22,646
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△119	△207
繰延ヘッジ損益	△1,160	△4,274
為替換算調整勘定	422	△921
評価・換算差額等合計	△857	△5,403
新株予約権	192	160
少数株主持分	725	0
純資産合計	27,226	17,403
負債純資産合計	105,834	106,971

(2) 四半期連結損益計算書
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)
売上高	58,325	47,896
売上原価	39,887	32,583
売上総利益	18,437	15,312
販売費及び一般管理費	17,209	13,811
営業利益	1,228	1,501
営業外収益		
受取利息	31	19
受取配当金	46	28
為替差益	—	732
その他	459	368
営業外収益合計	537	1,148
営業外費用		
支払利息	821	814
売上割引	451	346
為替差損	80	—
シンジケートローン手数料	—	226
その他	72	91
営業外費用合計	1,426	1,479
経常利益	339	1,170
特別利益		
固定資産売却益	6	4
為替差益	—	5,955
役員退職慰労引当金戻入額	153	132
受取保険金	72	—
その他	53	12
特別利益合計	286	6,105
特別損失		
固定資産売却損	31	66
固定資産除却損	39	7
為替差損	15,303	—
投資有価証券売却損	34	0
子会社株式売却損	1,235	—
リコール損失	—	12
その他	219	5
特別損失合計	16,863	91
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△16,237	7,183
法人税、住民税及び事業税	193	43
法人税等調整額	△4,592	2,345
法人税等合計	△4,398	2,389
少数株主損失(△)	△69	△115
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△11,769	4,909

(第3四半期連結会計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結会計期間 (自 平成20年10月1日 至 平成20年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (自 平成21年10月1日 至 平成21年12月31日)
売上高	18,161	16,271
売上原価	11,968	10,884
売上総利益	6,192	5,386
販売費及び一般管理費	5,117	4,156
営業利益	1,075	1,230
営業外収益		
受取利息	1	0
受取配当金	13	9
為替差益	—	460
その他	—	186
営業外収益合計	15	656
営業外費用		
支払利息	230	270
売上割引	163	121
為替差損	487	—
その他	35	29
営業外費用合計	916	421
経常利益	173	1,465
特別利益		
固定資産売却益	—	2
為替差益	—	609
役員退職慰労引当金戻入額	—	111
その他	—	10
特別利益合計	—	732
特別損失		
固定資産売却損	38	48
固定資産除却損	35	0
為替差損	8,945	—
投資有価証券売却損	21	0
リコール損失	—	1
その他	—	0
特別損失合計	9,039	51
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△8,865	2,146
法人税、住民税及び事業税	15	25
法人税等調整額	△2,619	750
法人税等合計	△2,604	776
少数株主利益	547	87
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△6,808	1,282

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

「参考」

四半期個別財務諸表

（1）四半期貸借対照表

（単位：百万円）

	当第3四半期会計期間末 (平成21年12月31日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,041	1,826
受取手形及び売掛金	7,338	7,707
商品及び製品	3,575	5,095
仕掛品	1,359	1,496
原材料及び貯蔵品	4,700	6,147
その他	7,880	4,766
貸倒引当金	△31	△37
流動資産合計	26,864	27,001
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	5,168	5,450
機械装置及び運搬具（純額）	2,063	2,498
その他（純額）	9,797	9,760
有形固定資産合計	17,028	17,709
無形固定資産	546	438
投資その他の資産	32,972	32,758
固定資産合計	50,548	50,907
資産合計	77,412	77,908
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,699	5,529
短期借入金	9,744	16,450
1年内償還予定の社債	3,000	3,000
未払法人税等	58	97
引当金	—	446
為替予約	2,540	1,601
その他	2,313	2,319
流動負債合計	21,356	29,445
固定負債		
社債	9,000	12,000
長期借入金	15,813	5,299
引当金	856	817
その他	968	745
固定負債合計	26,638	18,862
負債合計	47,995	48,307

(単位：百万円)

	当第3四半期会計期間末 (平成21年12月31日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成21年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,324	7,324
資本剰余金	7,815	7,815
利益剰余金	16,532	16,712
自己株式	△2,128	△2,126
株主資本合計	29,544	29,726
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△149	△226
繰延ヘッジ損益	△169	△59
評価・換算差額等合計	△319	△285
新株予約権	192	160
純資産合計	29,417	29,600
負債純資産合計	77,412	77,908

(注) この四半期貸借対照表は、四半期財務諸表等規則に基づいて作成しておりますが、法定開示におけるレビュー対象ではありません。

(2) 四半期損益計算書
(第3四半期累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)
売上高	50,376	40,808
売上原価	35,709	29,039
売上総利益	14,667	11,769
販売費及び一般管理費	13,694	10,604
営業利益	972	1,165
営業外収益		
受取利息	167	57
受取配当金	41	425
仕入割引	53	36
受取賃貸料	215	128
その他	283	187
営業外収益合計	761	835
営業外費用		
支払利息	323	310
社債利息	250	236
売上割引	427	326
シンジケートローン手数料	—	223
その他	50	32
営業外費用合計	1,051	1,128
経常利益	681	872
特別利益		
固定資産売却益	0	3
役員退職慰労引当金戻入額	—	111
受取保険金	70	—
その他	10	8
特別利益合計	81	122
特別損失		
固定資産売却損	31	57
固定資産除却損	26	7
為替差損	1,892	754
その他	166	4
特別損失合計	2,117	824
税引前四半期純利益又は 税引前四半期純損失(△)	△1,353	170
法人税、住民税及び事業税	72	52
法人税等調整額	△485	△85
法人税等合計	△412	△33
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△940	204

(注) この四半期損益計算書は、四半期財務諸表等規則に基づいて作成しておりますが、法定開示におけるレビュー対象ではありません。